

仏検1級・準1級対策

2021年試験予定日 各年1回 | 1級 6月20日(日) 準1級 11月21日(日)

仏検1級の合格率

その回によりますが、例年1割弱。全国で500-600の方が受験します。なかなか狭き門です。

合格基準点

必要得点率は、その回によって異なりますが、6-7割。150点中の90-100点程度で合格します。

仏検1級の構成

筆記試験が100点、書き取り・聞き取りが50点、合計150点にて構成されています。

筆記試験には大門が9つあり、1-4は語彙の知識問題。配点33点。5は文中の動詞を活用する問題。配点10点。6-8は長文読解。配点37点。9は和文仏訳。配点20点。

書き取りは配点20点。聞き取りは30点。

受験者の得点率は1-4は2割以下。5は2割。6-8は5-6割。9は2割5分。書き取りは5割。聞き取りは5-7割。

仏検1級突破の戦略

当校は、5の動詞の活用の得点率を2割から8割に上げ、書き取りの得点率を5割から7割に上げるにことを目的とする対策アトリエを一つ、和文仏訳の得点率を2割から8割に上げることを目的とする対策アトリエをもう一つご提案いたします。

仏検1級突破を目指す、日本全国の皆様にご参加頂ければ幸いです。定員4名。授業形態はzoomを用いたオンラインでの対面・ドキュメントの共同作成です。

和文仏訳研究アトリエ(1級)

課題は事前に配布。参加者それぞれが、共有ドキュメントに自身の解答例を記載。2時間で3問を扱います。問題は独自の予想問題。日本人講師とフランス人講師の2名で授業担当。日本語が充分反映されているか、フランス語の正しさ、簡潔さを両名が吟味。参加者全員で情報を共有し、議論して、最適な解答を探ります。和気あいあいとした、かつスリリングなセッションなるでしょう。

動詞の活用・書き取りアトリエ(1級)

オンライン接続の上、紙に手書きで回答。問題は独自の予想問題。スクリーンショットで撮影し、zoomのチャットにて講師に送信。1つの画面上に共有し、その場で解説。2時間で活用2問、書き取り2問。フランス人講師担当。



仏検準1級の合格率

その回によりませんが、例年約2割5分。全国で1000-1300人の方が受験します。

合格基準点

必要得点率は、その回によって異なりますが、6-7割。120点中の70-85点程度で合格します。

仏検1級の構成

筆記試験が80点、書き取りが20点、聞き取りが20点、合計120点にて構成されています。

筆記試験には大門が8つあり、1-3は語彙の知識問題。配点20点。4は文中の動詞を活用する問題。配点10点。5-7は長文読解。配点36点。8は和文仏訳。配点14点。

書き取りは配点20点。聞き取りは20点。



マガロン依子

2017年仏検1級文部科学大臣賞受賞・Dalf C2取得。ル・マン大学フランス語教授法リソンス相当修了。全国通訳案内士（フランス語）



Philippe-Jean Touscoz

専門分野はフランス語、フランス文学。国際フランス学園高等部にてフランス文学を担当こともあるなど、教授経験豊富。



Christophe Gigan

INALCO, パリ第7大学 FLE修士課程修了。

仏検準1級突破の戦略

4の動詞の活用の得点率を8割に上げるとともに、書き取りの得点率を7割に上げるにことを目的とする対策アトリエ、和文仏訳の得点率を8割に上げることを目的とする対策アトリエの2授業をご提案いたします。

仏検準1級突破を目指す、日本全国の皆様にご参加頂ければ幸いです。定員4名。授業形態はオンラインでの対面・ドキュメントの共同作成です。

- ・和文仏訳研究アトリエ（準1級）
- ・動詞の活用・書き取りアトリエ（準1級）

授業の進め方は仏検1級と同様。 _

日程と授業料

和文仏訳研究アトリエ（1級）

日曜日 15h30-17h30

2月28日、3月21日、4月25日、5月30日

授業料 4回 35200円（税込）

講師 マガロン依子、Philippe-Jean Touscoz

動詞の活用、書き取りアトリエ（1級）

日曜日 15h-17h

3月14日、4月11日、5月9日、6月13日

授業料 4回 26400円（税込）

講師 Christophe Gigan

仏検準1級のための両アトリエは、2021年7-10月に開催。日程は追って発表します。

申込とお支払

メールにて2月28日までにお申込下さい。お支払は請求書をご送付し、お振込頂きます。

キュルチュール・インターナショナル・クラブ
cic@culture-francaise-tokyo.co.jp